

阪急阪神不動産株式会社 ジオ桃山台レジデンス



ヒートポンプ給湯

贈呈理由

分譲マンションへのエコキュート採用により、
大幅な省エネルギー・環境負荷低減に貢献



ジオ桃山台レジデンス 立地場所

100年のまちづくりの実績を 次の100年につなげる

阪急阪神ホールディングスグループは100年以上にわたり、大阪・梅田や阪急・阪神沿線を中心に人々に豊かなライフスタイルを提案し、魅力あふれる沿線づくり、まちづくりに貢献してきた。

阪急阪神不動産株式会社は同グループの中核企業で、同社が展開する分譲マンションブランド「ジオ」は沿線でナンバーワンの供給数を誇るとともに、その高い品質およびデザイン性から業界内では資産価値が下がりにくいブラ



イメージ写真

貯湯タンクとヒートポンプを廊下側メータBOX内に縦2段に設置

ンドとして評価され、数々のグッドデザイン賞も受賞している。

エコキュートの設置に工夫 先導的な取り組みに注目

ジオ桃山台レジデンスは、1955(昭和30)年以降の「千里ニュータウン」の開発をはじめ、70(昭和45)年に「日本万国博覧会」が開催されたことでも全国的に有名な緑豊かな「千里丘陵」にある。

最も近い北大阪急行線「桃山台」駅(徒歩4分)は、大阪の大動脈である地下鉄御堂筋線と直結しており、新大阪、大阪・梅田、淀屋橋、本町、難波、天王寺へ乗り換えなしで直接アクセスでき、丘陵地の豊かな自然が潤う住環境と利便性の両方を兼ね備えた物件である。

そのうえ、エネルギーを上手に使う暮らしに貢献するオール電化仕様で、給湯機はヒートポンプ技術で空気中の熱を利用してお湯を沸かすエコキュートを採用。高効率かつCO₂排出量を削減できるなど、環境にも配慮した仕様となっている。

また本物件では、エコキュートの設置方法について先導的な取り組みを行っている。設置スペースのコンパクト化、放熱ロスの低減、メンテナンスのしやすさなどの観点から、タンクとヒートポンプを廊下側のメータBOX内に縦2段に設置する方式を採用している。



イメージ写真

メータBOX内下部に設置された貯湯タンク(ヒートポンプは上部)

ジオ桃山台レジデンス

所在地:大阪府吹田市竹見台4-5-5
建築設計:株式会社D&D建築設計事務所
建築施工:株式会社長谷工コーポレーション
設備設計:株式会社長谷工コーポレーション
設備施工:株式会社長谷工コーポレーション
延床面積:2,859.67㎡
竣工:2020年9月下旬新設予定

■設備概要

エコキュート300L×66台(パナソニック電気)